

武蔵野市 開かれた学校づくり協議会

開かれた学校づくり協議会は、**#学校運営のパートナー**として、地域が主体的に学校づくりに参加する仕組みです。

学校長をはじめとする**#多様な委員**が、学校運営について**#継続的に熟議**します。

子どもの育ちや求められる学校の姿を様々な視点で話し合うことで、**#地域とのつながり**を生かした教育活動も豊かになります。

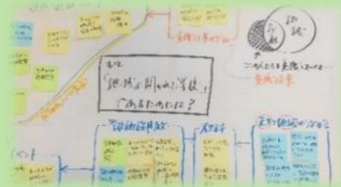


出合った意見の共有

学校運営協議会として

- ① 学校運営の基本方針の承認
- ② 学校運営に関する意見を述べる
- ③ 教員の任用に関する意見を述べる

地域の良さやつながりを確認したり、子どもとともに育てるための方向性を共有したり、その学校ならではの議論がなされています。



議論の内容を可視化



協議会での熟議



～学校運営×地域のか～
共に育む子どもの未来



ボランティア募集案内



検定ボランティアへの説明

地域学校協働本部として

地域コーディネーターを配置することで、地域の参画による多様な地域学校協働活動が推進されています。
『地域の教育力』事業を活用した諸活動、登下校・部活動の見守りや、授業、行事や課外活動支援など様々なものがあります。



キャリア教育の
ゲストティーチャー



部活動の見守り活動



学校評価の説明

学校評価に資するアンケートを実施し、学校としての自己評価をまとめて、開かれた学校づくり協議会で協議します。

開かれた学校づくり協議会の 年間スケジュール例

4月

- ・会長・副会長の選出
- ・学校運営の基本方針の確認

5月

- ・地域行事や地域学校協働活動の紹介

6月

- ・子どもたちの日常生活や様子の理解
- ・地域の様子などの情報共有
- ・熟議テーマや取組の広報方法の検討

7月

- ・学校に必要な人材像についての意見聴取

8月

- ・テーマに基づいた熟議

9月

- ・地域行事や地域学校協働活動の現状把握

10月

- ・学校評価に資する保護者や子ども向けアンケート案の提案・検討

11月

- ・学校評価実施

12月

- ・評価を生かした来年度の学校運営の基本方針の検討・協議

1月

- ・学校運営の基本方針の承認

2月

- ・地域学校協働活動の振り返り
- ・来年度の学校運営の基本方針を踏まえた協議会運営の検討

3月

- ・1年間の活動の総括
- ・来年度の委員選定

- ・年間8回程度開催
- ・基本的には傍聴可能

学校と地域が目指す方向性を 共有する

子どもの姿を共有し、学校と地域が対等な立場でお互いの思いを理解することが重要です。学校を知り、子どもが育つ地域を知り、学校と地域が一体となって目指す方向へと進むために、開かれた学校づくり協議会の役割の一つである『学校運営の基本方針の承認』は大きな意味があります。

～実際の協議内容の例～

子どもたちからも意見を聞きたい。アンケートをとったり交流の場を設けたりしてみよう。

地域には福祉、防災、商業、コミュニティなど学びを深める分野がある。教育課程に紐づけることはできないか。

学校の理解を深めるために、教員の研究授業にも参加して今の指導内容を知ることができるのでは。

子どもたちが地域への愛着を持ち、いつでもこの地域に戻ってこられる仕組みを考えたい。

協議会で話し合った内容を地域でも広く知ってもらおう広報活動をしたい。

小中や幼保小の連携も大事。協議会をパイプ役として情報交換の場を設けたい。



各校・地域でさまざまな協働活動が実現しています。開かれた学校づくり協議会の開催日時などは各校にお問い合わせください。

武蔵野市立小中学校
ポータルサイト↓



<https://www.musashino-city.ed.jp/>

武蔵野市教育委員会
指導課 教育推進室

令和8年1月